

長い間、地元の人によって山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までのこのような所にはたくさんの生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったのですが、それでもいまでは珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻60号

写真 長岡 恂・野中俊吾・吉田文雄・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

谷戸のシダとこけ

2021年9月18日(土)

(雨天中止)



ヒメジャゴケ 吉田文雄

主催 あつぎこどもの森クラブ

蘚類 苔類 地衣類

コケといわれるものは一様ではない。

分類上コケは、蘚類（せんるい）、苔類（たいるい）ツノゴケ類にわけられ、合わせて蘚苔類といわれる。苔類は葉に中肋がないなど区別点はある。

コケの仲間と思われるウメノキゴケは地衣類で、これは藻類と菌類が共生して存在しているもので分類上全くの別物である。

また、コケと名が付いていてもサギゴケは花が咲く顕花植物、クラマゴケはしだ植物のようにコケ植物ではないものもある。

コケ植物は微妙な環境の変化を反映するので注目したい。

蘚類



ナミガタタチゴケ



ヒロハツヤゴケ



コスギゴケ

苔類



ホソバミズゼニゴケ



ジャゴケ



ヒメジャゴケ
黒点は雄器床

ツノゴケ類



ニワツノゴケ

地衣類



マツゴケ



ウメノキゴケ

シダ類



ホシダ



ミズニラ

コモチシダ



カニクサ

カニクサはつる性のシダだ。地面から出た1枚の葉が切れ込みそれぞれがつる状に伸びている。どのくらいの長さに伸びているか見てみよう。

センサーカメラがとらえた画像



タヌキ
6/9



2頭のメスジカ
8/9
下左
2歳のオスジカ
8/31
下右 オスジカ
奥 4歳以上
手前 3歳 9/8



最近のこどもの森公園

9/11

植物



オオナンバンギセル



ツルニンジン



ヤブラン



キンミズヒキ



オオバウマノスズクサ実



シロヨメナ

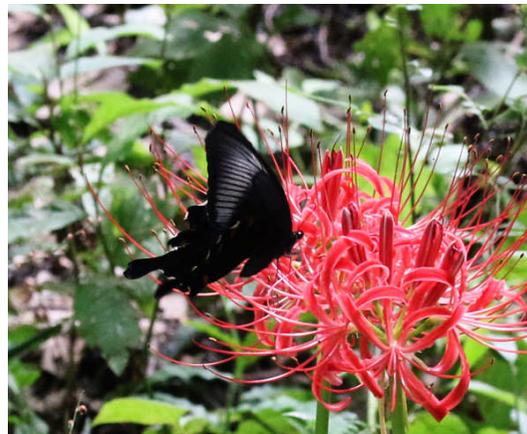


オオニシキソウ 実

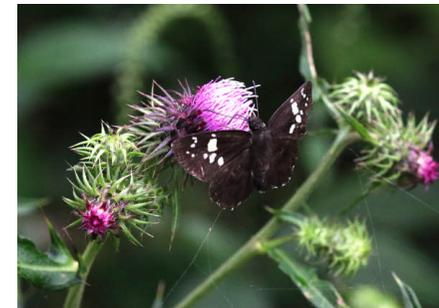


スズメウリ 未熟な実

昆虫他



カラスアゲハ



ダイミョウセセリ



シンシユサン 幼虫

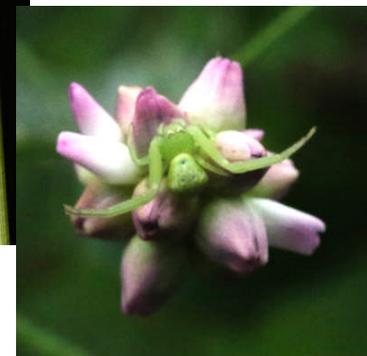


クルマアツバ亜科 枝に擬態



ハネナガイナゴ

ササキリ 産卵



ハナグモ

活動の記録

園路周辺の草刈り



9月11日 こどもの森クラブでは園路周辺や湿地の草刈りをしました。草刈りは公園利用者や自然環境の維持のため必要な作業です。

といっても、園路脇には希少な植物もありますし、湿地にはそこだけに生息する昆虫もいます。

そこで、草刈りは機械で一律に刈ってしまうのではなく、あらかじめ希少種には印をつけたり、その部分だけは手刈りにしたりと見極めながら作業を進めます。

また、湿地の昆虫については生育時期に配慮して影響が少ない時期を選んで行っています。

草木染め勉強会

6月18日は コゴメウツギを使いました。



コゴメウツギ 葉



結果は左の通り。

10月23日に荻野公民館行事に協力して親子体験教室を実施する予定です。

ガイドウオークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

こどもの森ガイドウオーク（自然観察）原則第3土曜

9:30 ~ 理棟前集合 参加無料どなたでも参加できます。定員 20名

2021年の計画

- 4月17日 雑木林の春
- 5月15日 夏鳥の声
- 6月19日 初夏の植物
- 7月17日 森の昆虫を探そう
- 8月14日 水辺の生き物
- 9月18日 谷戸のシダとコケ 次回
- 10月16日 秋の花とキノコ ←

- 11月20日 種子の旅
- 12月18日 生き物の冬越し

2022年

- 1月15日 冬の野鳥
- 2月26日 冬芽の観察
- 3月19日 春の兆し

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

- 4月11日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月16日 両生類〜カエル・イモリについて
- 6月20日 ホタルについて
- 7月19日 水生カメムシについて
- 8月1日 トンボについて
- 9月5日 河川調査について
- 10月3日 外来生物について ← 次回
- 11月7日 ホトケドジョウについて
- 12月4日 冬の生き物の過ごし方
- 1月10日 落ち葉かき・カブトムシ増やし
- 2月6日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月6日 ヤマアカガエルについて

新型コロナウイルス蔓延状況により中止の場合があります。

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中に行っています。会員対象です。（入会はいつでも受付けています）